

## 平成22年度門真市事業仕分け市民判定員アンケート集計表

39人回答

設問	選択肢	割合	回答数	
設問1	(1) 職員の説明	よくわかった	20.5%	8
		わかった	66.7%	26
		わかりづらかった	12.8%	5
	(2) 仕分け人の質問	よくわかった	56.4%	22
		わかった	35.9%	14
		わかりづらかった	7.7%	3
	(3) 資料	よくわかった	12.8%	5
		わかった	76.9%	30
		わかりづらかった	10.3%	4
	(4) 今後も継続して仕分けを実施していくべき	そう思う	84.6%	33
		どちらともいえない	15.4%	6
		そう思わない	0.0%	0
設問2	市の業務や行革に理解や興味が深まったか	深まった	76.9%	30
		どちらともいえない	12.8%	5
		深まらなかった	10.3%	4
設問3	今後機会があれば、事業の評価を行う場へ参加してみたいか	そう思う	69.2%	27
		どちらともいえない	20.5%	8
		そう思わない	10.3%	4
設問4	【ご意見】	はっきりと大きな声で話して欲しい		
		コーディネーター、仕分け人の質問が難しい		
		市の事業へ関心が深まりました		
		今日は貴重な体験をさせていただきました。今日のことを今後の生活に役立てたい		
		緊張感のあるやり取りの中、沢山勉強できた		
		また、ぜひ参加してみたい		
		事業の目的の説明がはっきりしていれば、仕分け人の質問の意味が分かった		
		これからも仕分けを続けて欲しい。このような機会をもっと増やして欲しい		
		対象事業を選ぶ過程を重要視すべき(仕分けてみては)		
		予算の削減目標や、削減後の予算の使い道が分からない(知りたい)		
		事業へ「税を使う・使わない」のビジョンが見られない		
		1つ1つが難しく、また議論の時間も足りないのではないかと		
		自分の住む町は、自分たちが参加して良くする必要があった		
		外部の視点で客観的に役所の仕事を判断できる、良い機会であった		
		もう少し議論に時間をかけた方が良い(下地が無く理解しづらい点があった)		
		あまりにも甘い行政に驚いた。説明者の説得力が足りない		
		コーディネーター、仕分け人の意見には十分理解できるものがあった		
		民間との考え方に差を感じた。市役所と市民の間に温度差を感じた		
		市の説明者は廃止したくないと言っているだけだ		
		市の財政を良くするために、ぜひ危機感を持って尽力されたい		
		どの事業も金額的に少なかったが、市政に関心を持つことができよかった		
		仕分け人の視点は自分には考えも付かないものがあった		
		もう少し現実的な意見があったほうが良い		
		税の使途について市民が知る機会が必要であると感じた		
		判定員にも質問できる機会が欲しかった		
		仕分け人・説明者に緊張感がないことがあり、印象が悪かった		
		市と仕分け人との議論がかみ合っていないことが多々あった		
自らが行っている事業について、しっかり調査すべき。仕分け人も現地を見てみたほうが良い				
どの事業も利用者を増やす努力が欠けている				
行政サービスは効率を無視する部分が必要と思うが、この時勢にあっては効率性や有効性に力点を置いて、大幅な変更も必要。強引な指導力を期待しています				
市民に事業を知らすことは良い。ネット動画やケーブルTVなども活用しては				

平成22年度門真市事業仕分け傍聴者アンケート集計表

51人回答

設問	設問	選択肢	割合	回答数
設問1	お住まい	門真市内	56.9%	29
		門真市外	41.2%	21
		未回答	2.0%	1
	性別	男性	52.9%	27
		女性	37.3%	19
		未回答	9.8%	5
	年齢	40歳未満	29.4%	15
		40歳～59歳	43.1%	22
		60歳以上	27.5%	14
		未回答	0.0%	0
	傍聴のきっかけ	広報かどま	38.8%	19
		ホームページ（門真市）	24.5%	12
		ホームページ（構想日本）	10.2%	5
新聞		0.0%	0	
知人の紹介		12.2%	6	
その他		14.3%	7	
未回答		4.1%	2	
設問2	(1) 職員の説明	よくわかった	13.7%	7
		わかった	41.2%	21
		わかりづらかった	41.2%	21
		未回答	3.9%	2
	(2) 仕分け人の質問	よくわかった	41.2%	21
		わかった	37.3%	19
		わかりづらかった	13.7%	7
		未回答	7.8%	4
	(3) 資料	よくわかった	15.7%	8
		わかった	64.7%	33
		わかりづらかった	13.7%	7
		未回答	5.9%	3
	(4) 今後も継続して仕分けを実施していくべき	そう思う	58.8%	30
		どちらともいえない	21.6%	11
		そう思わない	13.7%	7
		未回答	5.9%	3
	(5) 他に実施したほうがよい事業について	外部団体が関連する事業		
		団体補助金		
		開発事業		
		教育委員会（市民やPTA・自治会を動員する）社会教育講演会		
あらゆる分野で実施すべき				
設問3	今後機会があれば、事業の評価を行う場へ参加してみたいか	そう思う	51.0%	26
		どちらともいえない	31.4%	16
		そう思わない	5.9%	3
		未回答	11.8%	6

【ご意見】

傍聴者にも事業の評価を求めては（アンケートに工夫を）  
 市民判定員に若い人が多く好感を持てるが、仕分け人が男性ばかり  
 第1会場のコーディネーターが役割を果たしていない（話しすぎ）  
 発展的な議論と、そうでないものがあった  
 対象事業の選定理由が明らかでない。対象事業を市民が選べる仕組みが必要ではないか  
 障がい者の参加できる行政体制にすべき（障がい者と老人・妊婦とは別）  
 市民の利益を追求する場であることを明確に  
 職員を評価する場ではない  
 構想日本は形骸化しつつある  
 第2会場は傍聴席から議論の場が近いため臨場感があり、良かった  
 削減ありきの議論ではなく安心した。今後当局はどうするか明確にすべき  
 委員会を充実させれば仕分けの必要なし  
 市の内部の現状が分かった  
 おもしろかった  
 的確に答えていないこともあったので、事前準備を十分したほうが良い  
 議論が仕分け人主導で行われている印象を受けた  
 市の職員がもっとしっかりして欲しい  
 市民の意見をもっと聞くべき  
 傍聴にも意見を聞いたほうが良い（議論に迫力が出る）。このままではお役所仕事  
 奨学金は小額のお金を数人で連帯して貸してはどうか  
 奨学生は在学中、お互いに連絡を取り合い、励ましあっては  
 もらっている間は、税のありがたさを分からせるべき（下級の奨学生を励ますなどの  
 ボランティア活動など）  
 職員の職務遂行能力が良くわかった  
 市民が他人任せにしない「良き市民」になるチャンスである  
 手話通訳は非常に良い取り組みである  
 不要な事業は第三者が見て廃止と判断しても良いが、必要なものであれば、事業費を  
 アップするなどの意見が出て良いのではないかと  
 第1会場の仕分け人について、冷静な対応をお願いしたい（言葉が乱暴で判定員に影響  
 を与えるのでは）  
 他市の職員が仕分け人になっていることに違和感があった（高飛車な物言いも不快）  
 法令や負担金などがわかりづらい。事業についても分かりやすく書いて欲しい  
 自転車対策はイタチゴッコである  
 コーディネーターや仕分け人の主観が強く反映しているように感じた  
 事業仕分けの意義に疑問はあるが、門真市が先んじて実施したことは評価したい  
 今後何らかの形で市民の意見が反映されやすい仕組みづくりを期待する  
 「事業仕分け」を仕分けてみてはどうか  
 市の財政を効率的に運営してください  
 役所の古い体質を改善して欲しい  
 不要な事業が多すぎる。近隣の行政と比べて改革が遅いのでは。すばやい転換を  
 事業費よりも人件費が高い事業があり驚いた  
 市民農園・外出支援事業・二島分館など無駄であることがわかった  
 市民が責任を持つ事業である  
 今後の見直し（姿勢）に、ぜひつなげて欲しい  
 第2会場は建設的な議論であり、大変勉強になった  
 地元にとって大切な事業が不要と判定されつらさを感じた  
 真剣に考えなければいけない時にきている  
 自分たちの暮らしは自分たちで守らなければならない  
 市職員にとって勉強するチャンスであり、市民に対しても理解を得ながら行政運営に  
 当るのかを考える良い機会だと思う  
 門真市全体で考えなければ行けない問題があると感じた  
 外部の意見を聞くことで、市の政策を改善することができるので、今後も続けていく  
 べき